

「ごみと資源の総量」の削減状況について

平成 28 年度における「ごみと資源の総量」については、21 年度に比べ 4.5% 以上削減することを目標としています。

28 年度 4 月から 10 月までの「ごみと資源の総量」（速報値）は、約 73 万トンで、21 年度の同時期に比べ約 3 万 4 千トン減少（▲4.4%）しました（27 年度の同時期に比べ約 3 千トン減少（▲0.4%））。

なお、家庭系の資源化量に含まれる資源集団回収量は、集計に 3 か月程度要するため、9 月、10 月分について推計値を使用しています。

表 1 平成28年度 4 月～10 月のごみと資源の総量（速報値）

【単位：トン】

	ごみと資源の総量						
		家庭系			事業系		
		ごみ量	資源化量※1		ごみ量	資源化量※2	
28年度	731,632	515,728	352,342	163,385	215,904	184,816	31,088
21年度差	▲ 33,945 (▲4.4%)	▲ 43,460 (▲7.8%)	▲ 17,712 (▲4.8%)	▲ 25,748 (▲13.6%)	9,515 (4.6%)	▲ 7,835 (▲4.1%)	17,350 (126.3%)
27年度差	▲ 3,053 (▲0.4%)	▲ 6,180 (▲1.2%)	343 (0.1%)	▲ 6,523 (▲3.8%)	3,126 (1.5%)	1,479 (0.8%)	1,647 (5.6%)
21年度 (基準年度)	765,577	559,187	370,054	189,133	206,390	192,651	13,738

※1 家庭系の資源化量に含まれる資源集団回収量については、28年9月～10月分を推計しています。

※2 事業系の資源化量は、学校給食残さの資源化量と事業者が生ごみやせん定枝を資源化した量の合計です。

※ 端数処理の関係で合計が一致しないことがあります。

10 月までの実績では、「ごみと資源の総量」は着実に減少しておりますが、年度の後半に向けてごみ量の増加が見込まれることから、目標達成に向けてはより一層市民・事業者の皆さまのご協力をいただく必要があります。

引き続き、地域での分かりやすい情報提供に努め、分別はもとより、ごみ量の削減につなげていきます。

< 参考 >

平成28年度4月～10月の家庭系燃やすごみ量 各区の実績（速報値）

【単位：トン】

	28年度 燃やすごみ量	21年度差	増減率（H21比） （%）	27年度差	増減率（H27比） （%）
鶴見	25,092	▲ 949	▲ 3.6	▲ 6	▲ 0.0
神奈川	20,510	▲ 1,360	▲ 6.2	74	0.4
西	8,265	▲ 539	▲ 6.1	▲ 3	▲ 0.0
中	13,526	▲ 1,331	▲ 9.0	▲ 154	▲ 1.1
南	18,002	▲ 2,134	▲ 10.6	▲ 35	▲ 0.2
港南	19,524	▲ 1,410	▲ 6.7	▲ 102	▲ 0.5
保土ヶ谷	19,047	▲ 1,792	▲ 8.6	53	0.3
旭	23,685	▲ 1,279	▲ 5.1	114	0.5
磯子	15,249	▲ 1,079	▲ 6.6	103	0.7
金沢	18,285	▲ 1,680	▲ 8.4	▲ 30	▲ 0.2
港北	28,660	▲ 749	▲ 2.5	118	0.4
緑	16,083	▲ 375	▲ 2.3	114	0.7
青葉	27,500	▲ 746	▲ 2.6	191	0.7
都筑	18,454	293	1.6	164	0.9
戸塚	24,158	▲ 1,779	▲ 6.9	186	0.8
栄	11,412	▲ 824	▲ 6.7	▲ 82	▲ 0.7
泉	14,666	▲ 160	▲ 1.1	65	0.4
瀬谷	11,862	▲ 261	▲ 2.2	▲ 23	▲ 0.2
18区	333,980	▲ 18,154	▲ 5.2	749	0.2